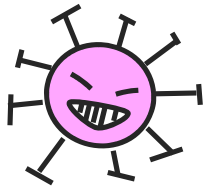





感染症に気をつけよう!!

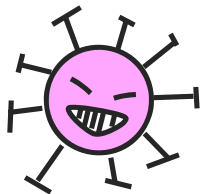


横浜市内 感染症 流行状況

2024年8月号
横浜市衛生研究所



感染症	流行状況		説明 <small>【関連リンク】</small>
手足口病	 流行	 減少	7月初めに流行警報域に到達したが8月に入り患者数は減少傾向 <small>【臨時情報】</small>
新型コロナウイルス感染症	 流行	 横ばい	5月以降増加傾向、流行の程度は前年とほぼ同様
腸管出血性大腸菌感染症	(全数報告)	 増加	7月に入ってから患者数が増加、幅広い年代で報告あり
梅毒	(全数報告)	 増加	20~50歳代が中心だがあらゆる年代で報告あり <small>【政府広報 動画】</small>



なかなか減らない梅毒……

令和に入ってから性感染症は増加傾向。その中でも特に梅毒は全国的に増える一方。気になる人はぜひ検査を！

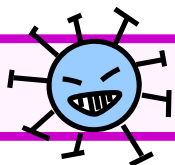
[【無料・匿名検査】](#)

<参考HP>

厚生労働省

国立感染症研究所

今、気をつけたい



腸管出血性大腸菌感染症



- 夏といえばバーベキュー！でも肉は生だと危険がいっぱい！
- 「O157(オーイチゴナナ)」って、聞いたことあるかな？詳しくはここ*を見て！

*厚生労働省「腸管出血性大腸菌Q&A」

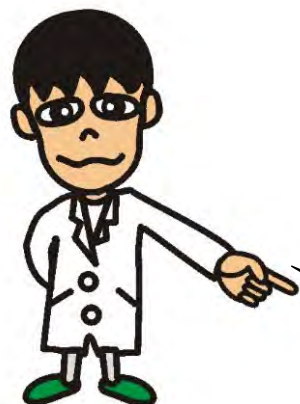
主な感染経路は？

菌で汚染された食べ物や飲み物を摂取してしまったり、菌を持っている生き物と触れ合ったりして感染することが考えられます。ヒトからヒトへも感染します。



予防法は？

他の食中毒菌と同じように、**加熱**や**消毒薬**で死滅します。もちろん、**普段からきちんと手を洗う**ことも大切。



この「食品の加熱」は、ただ温めればいいということではなく、「中心部の温度を75℃以上にして1分間以上」というのがポイント。**

**内閣府 食品安全委員会

「肉を低温で安全においしく調理するコツをお教えします！」



「腸管出血性大腸菌感染症」と診断されると、保健所の聞き取り調査があります。感染症を広げないための調査なので、ご協力をお願いします。